

第四紀研究 第15巻

目次

第1号(4月)

原著論文

- 一色直記・松村恵司：伊豆大島から発見された
縄文時代早期遺跡とその噴火年代指示者としての意義…………… 1
- 早津賢二：妙高火山・第Ⅲ期の活動とその噴出物
——妙高火山群の地質記載・その 2——…………… 11
- 佐瀬 隆・加藤芳朗：現世ならびに埋没火山灰土腐植層中の植物起源粒子
——とくに植物珪酸体——に関する研究(第Ⅰ報)
——給源植生の推定に関する問題——…………… 21
- 成瀬敏那：北九州海岸のヴェルム氷期の砂丘形成と古土壤…………… 35
- 書 評…………… 47
- 学会記事…………… 49

第2号(7月)

原著論文

- 早津賢二：飯縄火山の地質——妙高火山群の地質記載・その 3——…………… 55
- 佐瀬 隆・加藤芳朗：現世ならびに埋没火山灰土腐植層中の植物起源粒子
——とくに植物珪酸体に関する研究(第Ⅱ報)
——火山灰土の腐植給源植物に関する問題と植物珪酸体を用いた古気候推定——…………… 66
- 柏原 信・広瀬保志・香河正人・菅 恵一・春日井 昭・山岸一夫：
羊蹄火山のテフラ——降下軽石・スコリア堆積物とその ¹⁴C年代について…………… 75
- 書 評…………… 87
- 学会記事…………… 90
- 会員名簿…………… (1)

第3号(10月)

原著論文

- 岡口雅子：大分県鶴崎台地の地質の再検討
——火砕流堆積物中のジルコンによるフィッシュン・トラック年代——…………… 97
- 太田陽子・松田時彦・平川一臣：能登半島の活断層…………… 109
- 短 報
- Sei'ichiro Tsuji: Notes on the massulae of *Azolla* from the late Holocene
sediments in Chiba Prefecture…………… 129
- 辻 誠一郎・遠藤邦彦・浜田隆士・松岡敬二：千葉県樺海低地帯におけるキク
メイシモドキの産出について…………… 131
- 奥村 清・見上敬三：相模川低地の沖積層に含まれる埋没腐植土等の ¹⁴C年代…………… 133
- 町田 洋・松島義章：下末吉海進初期の古環境に関する若干の資料…………… 136

総 説

太田陽子：ニュージーランドにおける第四紀研究の一断面——旧汀線の研究を中心に——	141
町田 洋：チリ湖沼地帯とニュージーランドの第四紀研究 ——とくに日本の研究と関連の深い諸問題について——	156
吉田栄夫：南極における氷床の変動と第四紀	168
市原 実・渡辺直経：ジャワの人類化石含有層	176
亀井節夫：シワリク統と鮮新・洪積世境界問題	181
中川久夫：第三系・第四系境界問題の現状	187

短 報

吉川虎雄：気候変化——氷河の変動——海水準変化	193
井関弘太郎：ヨーロッパにおける完新統の基底と日本の沖積統の基底	195
成瀬 洋：更新世の海面変動	197
広岡公夫：考古地磁気および第四紀古地磁気研究の最近の動向	200
藤 則雄：北欧諸国における第四系の花粉学について	204
松井 健：第四紀土壌学（古土壌・土壌地理）	208
小堀 巖：米ソの Arid Lands Studies の研究機関のことども	209
柴崎達雄：乾燥地域における第四紀研究の課題	211
小池一之：イギリスにおける第四紀研究の最近の動向	212
浅海重夫：ニュージーランド北島の火山灰土壌に関する若干の問題	215
中村一明：アメリカ東部の地震地質学とラモントに眠る日本の海底火山灰	216
松本繁樹：オーストラリアにおける岩塊流研究	217
野上道男：わが国の越年性雪溪と氷河	218
岡田篤正：北部チリのアタカマ断層系および中南部チリ（プエルトモント周辺） の氷河地形調査の問題点	222
埴原和郎：アメリカ原住民の起源に関する研究	224
鈴木秀夫：海外調査の発表方法と視点	225
編集後記	227
学会記事	228
投稿規定	233
原稿の書き方	235